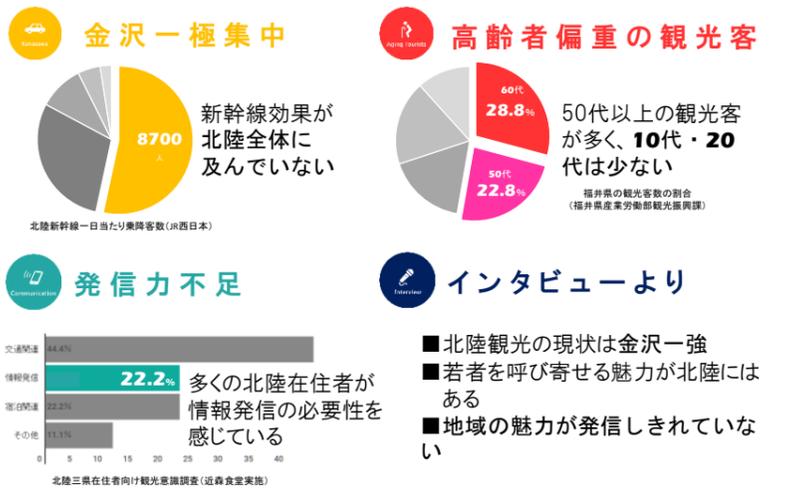


チーム名	近森食堂	大学・学部	慶應義塾大学文学部	北陸ステージ 本選出場
プラン名称	『おとなFACTORY』 想いの生まれるものづくりを、北陸で。			
リーダー名	熊田真美子	対象地域	北陸三県（富山・石川・福井）※二県以上の二市町村以上を対象とすること。	
指導教職員名	近森高明	石川県加賀市、福井県越前市、福井県鯖江市、富山県氷見市		
メンバー名	吉田秀穂、鹿島晴佳、鈴木真帆、竹田剛志、松下友梨香、宮部紗由香			

北陸広域観光推進協議会賞
受賞

Concerns 課題認識

フィールドワーク&アンケート調査から北陸観光の現状を分析した。



金沢に集中している観光客を分散させる必要
若者を呼び込むコンテンツを用意し、幅広い年齢層に愛される北陸へ発信しきれていない地域の魅力を取り上げ、適切に伝える必要

Objective ターゲット・対象地域

○ターゲット=ワカシャカ(若い社会人)

ワカシャカ 情報発信にSNSを利用 体験型観光を求めている お金と時間に余裕がある

肌で感じられる地域の魅力があるが 情報発信に悩む 自治体にうってつけ

○対象地域

越前市	共通点 ・ものづくりの街 ・北陸新幹線駅/設置予定地からのアクセス良 →工夫次第で街に人を呼び込める
鯖江市	
加賀市	
氷見市	

差異
・市ごとの異なる魅力
越前(本格的なものづくり)、鯖江(人の交流)
加賀(温泉、グルメ)、氷見(漁業、アート)

▶ 4市をFACTORYとして活性化を図る

Plan プラン内容



想いの生まれる
ものづくりを、
北陸で。

○コンセプト
想いの生まれるものづくりを、北陸で。
地域住民・職人との交流を育む
金沢だけじゃない北陸の魅力を発掘
従来と異なる新しい大人向けものづくり

○概要
地域住民・職人との交流を通じた新しい「ものづくり」観光プラン。「交流」「協業」をキーワードにしており、従来型のものづくりとは一線を画する旅の経験を味わえる。内容は「ものづくり」「FACTORY晩餐会」「地元ランチ&オヤツ」の3つから成り、地域の魅力を存分に実感できるものになっている。

○コンテンツ
主となる3つのコンテンツを紹介。これらを自由に組み合わせることで、毎回違った旅に。

CRAFTS-MAKING ものづくり 時間や目的にあわせて作るものをセレクト。職人と一緒にやるから、クオリティにもこだわられる。	FACTORY DINNAR FACTORY 晩餐会 地域食材を使った料理が食べられる。地域の皆さんと一緒に食卓を囲み、北陸を知る。	JIMOTO LUNCH 地元ランチ・オヤツ ものづくりの合間に地元グルメを堪能できる。伝統工芸とコラボしたグルメも用意されている。
--	---	---

Solution 解決策

『おとなFACTORY』は北陸観光の課題の解決に大きく寄与する。

- × 金沢一極集中 ▶ 観光拠点の分散
金沢とは異なる魅力をもつ4市を対象地域とし、観光客を誘導
- × 高齢者偏重の観光客 ▶ バランスの取れた観光客年齢層
若者層にアプローチし、需要のある体験型ツーリズムに特化した
- × 発信力不足 ▶ 発信強化&ブランディング
若者層によるSNSでの発信強化と広域での統一ものづくりブランドを形成

首都圏若者の3人に1人が北陸で体験型観光をしたいと思っている！
首都圏観光意識調査(近森食堂実施)

Twitter・Instagram利用者の半数以上は20代
App Ape Report 2014年12月版

What's New 新規性

○新しいものづくりツーリズムの提案
従来のものづくり観光=個人作業・子供向け・手軽さ
おとなFACTORY=協業・交流・本格派向け

○金沢にないもので、新たな北陸観光のカタチを実現

○地域コミュニティに新たな風を
地域参加型なのが大きな特色。本プランの実施で自治体内外・地域間の人・モノ・情報の交流が活発化する。

持続可能なコミュニティへ=観光まちづくり

Action Plan 実現計画 短期間で実現可能

準備期間 1+ months
プラン実行 1~2 years
プラン本格化 6+ months

統一ブランド作成 → 「ものづくりレシビ」作成 → おとなFACTORY本格整備 → ものづくりコラボアンテナショップ設置

- おとなFACTORYブランドを制作
- 製作過程をわかりやすくまとめる
- 既存の設備を利用してリーズナブルに4ヶ所拠点を整備
- 各地の拠点同士でコラボしてものづくりを活性化
- アンテナショップで魅力発信

Future 効果

既存のリソースを活用することで、リーズナブルに3つの効果と地域産業への大きな効果が得られる。

- 新しいものづくり地域北陸のイメージ形成
- 北陸全体の観光活性化
- 持続可能な地域コミュニティの形成

10年間での経済効果予測
産業関連表(総務省)を使用

- 1,010,000,000 新規需要額の予測
- 1,782,000,000 波及効果額の予測
- インフラ面での好循環交通網の整備に投資 → 人の流れが活性化

北陸全体の人・モノ・情報の交流が活性化